

Dr. 板東のメディカルリサーチ No. 173

〈哲学の心が 医学志す〉

プライマリ・ケア医学の国際学会に出席するため、パリを訪れた。105歳までご活躍された日野原重明先生の哲学であるHinohara-ismや著名な医師ウィリアム・オスラー先生のOslerismについて基調講演を担当させて頂いたからである。

以前にノーベル平和賞を受章したシュバイツァー博士(1875-1965)が知られる。氏は神学を学び、オルガン奏者としてレコードを出すなど音楽家でもあった。その後医学を志し、アフリカの医療に献身的に尽くしたのである。氏の基盤には、生まれ育った環境や崇高な哲学が存在し、医と芸術の心が共存しているようだ。

◆ 平静の心が 医療発展し

また、日野原先生が長年ライフワークとして研究された医師がおられた。カナダの医師オスラー卿(1849-1919)である。トロント大学で、神学と自然科学を学び、後に医学の道に進んだ。名著として「医学の原則と実践 (The principles and practice of medicine)」をまとめ、さらに、出版した「平静の心 (Aequanimitas)」が世界の医学・医療に大きな影響を及ぼした。ちょうど、米国に留学中の日野原先生が感動し、その後オスラーの哲学が広く知られるようになった。



日野原 重明 先生
Dr. Shigeaki HINOHARA
St. Luke Intl' Hosp
in Tokyo
The Father of
Music Therapy &
Primary Care Medicine

実際に、我が国の多くの医師や看護師は、オスラー卿や日野原氏による医学概論をいろいろ

な形で学んでいる。つまり、日本の医学および医学の基盤を築いてくださっているととっても過言ではない。

◆ 音楽と医療は同じ起源から

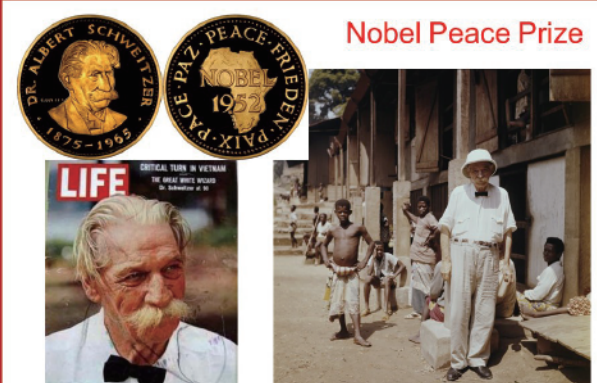
実は宗教、音楽、医学は同じ起源である。集団で人間が生活するようになり、巫女など宗教が生まれた。木切れで何かを叩くリズムや、人の声の抑揚から音楽が誕生した。

さらに、誰かが腹痛で苦しむとき、仲間のリーダーがお腹に手を当てて痛みを軽減。この手当てから診察・治療という医療分野に、さらに現代医学へと発展したのである。

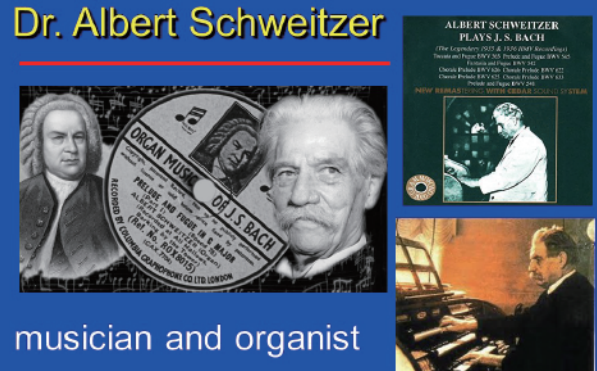
(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)



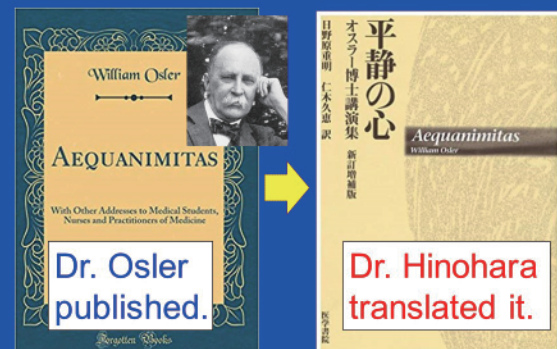
**2nd World Congress on
Primary Healthcare and Medicare Summit**
Keynote speech on
*Medical Practice and Research in Primary Care with
the Philosophy of Hinohara-ism and Oslerism*
Hiroshi Bando
Tokushima University
Japan
SUBMIT ABSTRACT
**Primary Care Medicine
with the Philosophy of
Hinohara-ism and also
Oslerism**



Nobel Peace Prize
DR. ALBERT SCHWEITZER
1875-1965
NOBEL PEACE PRIZE
1952
LIFE
DR. ALBERT SCHWEITZER
THE GREAT WHITE MAN
IN AFRICA
Nobel Peace Prize
1952



Dr. Albert Schweitzer
ALBERT SCHWEITZER
PLAYS J.S. BACH
THE LEGENDARY 20TH & 21ST CENTURY MUSICIAN
Nobel Peace Prize 1952
Organist
musician and organist



William Osler
AQUANIMITAS
With Other Addresses to Medical Students,
Nurses and Practitioners of Medicine
**Dr. Osler
published.**

Osler 博士講演集
平静の心
Aequanimitas
William Osler
日野原重明 仁木久雄 訳
新訂増補版
**Dr. Hinohara
translated it.**